

# ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症予防接種 （子宮頸がんワクチン）のお知らせ

○ ヒトパピローマウイルス（HPV）は皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100以上の種類に分類されています。これらのうち主に粘膜に感染する種類は、性行為を介して生じる表皮の微少なキズから、生殖器粘膜に侵入して感染するウイルスであり、海外においては性活動を行う女性の50%以上が、生涯で一度は感染すると推定されています。粘膜に感染するHPVのうち少なくとも15種類は子宮頸がんから検出され「高リスク型HPV」と呼ばれています。高リスク型HPVの中でも16型、18型とよばれる2種類は特に頻度が高く、海外の子宮頸がん発生の約70%に関わっていると推定されています。また、子宮頸がん以外にも海外において少なくとも90%の肛門がん、40%の膣がん・外陰部がん・陰茎がんに関わっていると推定されています。その他、高リスク型に属さない種類のものは、生殖器にできる良性のイボである尖圭コンジローマの原因となることが分かっています。

○ ワクチンの中には、いくつかの種類の人パピローマウイルス(HPV)のウイルス成分が含まれており予防接種を受けたお子様は、これらに対する免疫を獲得することができます。体内に免疫ができると、HPVにかかることを防ぐことができます。ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。（裏面を参照）

○ HPVワクチン接種を希望する本人及び保護者の方は、予防効果や副反応を十分ご理解いただいた上での接種をお願いします。（同封のリーフレットもご確認ください。）

## 1 対象年齢及び接種回数

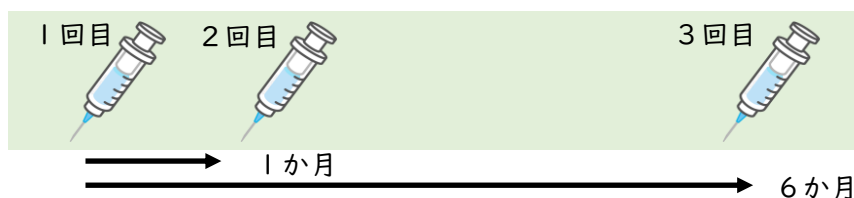
- 【対象年齢】 小学6年生～高校1年生相当の女子  
(平成18年4月2日から平成23年4月1日生まれの女子)  
\*標準的な接種時期：中学1年生(平成21年4月2日から平成22年4月1日生まれ)
- 【接種回数】 3回接種

## 2 ワクチンの種類と接種間隔

定期接種に使用されるHPVワクチンには、次の2種類があり選択することができます。ただし、最初に接種したワクチンを最後まで接種することになります。

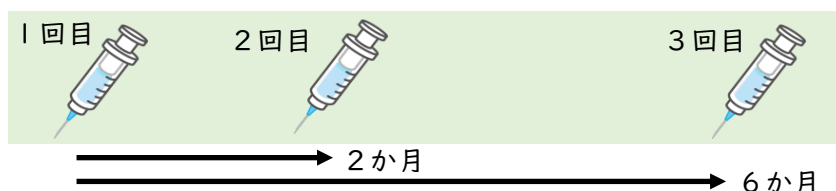
### ● 「サーバリックス」(2価ワクチン)

標準で、初回接種から1か月後に2回目、初回接種から6か月後に3回目を接種します。



### ● 「ガーダシル」(4価ワクチン)

標準で、初回接種から2か月後に2回目、初回接種から6か月後に3回目を接種します。



※ 「シルガード」(9価ワクチン)は定期接種のワクチンではありません。

### 3 予防接種の場所 市指定医療機関（一覧表のとおり）

#### 《 ヒトパピローマウイルス感染症予防接種実施医療機関一覧 》

	医療機関名	電話番号	予約	受付時間	予防接種実施日						備考
					月	火	水	木	金	土	
1	あいずみ 内科医院	63-2021	要予約	9:30~11:00	○	○	○	○	○		
				14:00~17:00	○	○		○	○		
2	柏原医院	67-3016	要予約	8:30~11:30	○	○	○	○	○		
				16:00~17:30	○	○			○		
3	川上医院	62-2051	要予約	9:00~11:00	○	○	○		○		
				15:00~17:00	○	○	○		○		
4	千葉医院	62-4039	要予約								
				14:00~15:00		○					
5	時田医院	62-2147	要予約	9:00~11:00	○	○	○	○	○	○	高校生 以上
				14:00~17:00	○	○	○	○	○		
6	守口医院	63-2170	要予約	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	
				14:30~17:00	○	○		○	○		

・日時については、医療機関により異なりますので、事前に確認し、必ず予約をしてから接種してください。

・医療機関は、接種予約を受付した後、ワクチンを取り寄せ接種の準備をします。体調不良などで予約日に接種できない場合は、速やかに医療機関に連絡をしましょう。そして、改めて接種する日程をご相談ください。

※かかりつけ医等、市外医療機関での接種を希望する場合は、接種10日前までに保健医療課での手続きが必要です。

### 4 予防接種の費用 無 料

### 5 持 ち 物 母子健康手帳 予防接種予診票

#### ◆予防接種を受けるときの注意

- ・お子さんの健康状態の良いときに受けましょう。
- ・このお知らせを読んでから、予防接種予診票を記入してください。心配なことは医師に相談しましょう。
- ・新型コロナウイルスワクチンを接種をする前後は、13日以上の間隔をあけてください。  
(2週間後の同じ曜日以降接種可能です。)

#### ◆ヒトパピローマウイルスワクチンの主な副反応と接種後の注意

- ・主な副反応は、発熱や、局所反応(疼痛、発赤、腫脹)です。また、ワクチン接種後に注射による痛みや心因性の反応等による失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるため、接種後 30 分程度は体重を預けることのできる背もたれのあるソファに座するなどして様子を見るようにしてください。
- ・稀に報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)ギラン・バレー症候群、血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)等が報告されています。

#### ◆予防接種を受けることができない人

- ・明らかに発熱している人(37.5℃以上)
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ・その日受ける予防接種によって、または予防接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーショック症状を呈したことがあることが明らかな人
- ・その他、かかりつけの医師が予防接種を受けるのに不適切な状態と判断した人

#### ◆予防接種を受ける前に、医師とよく相談しなければならない人

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある人
- ・前に予防接種を受けた時、接種後に発熱、発しん、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- ・過去にけいれんの既往のある人
- ・過去に免疫不全の診断がなされている人
- ・接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある人

#### ◆予防接種による健康被害救済制度について

・定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

・健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する又は障害が治癒する期間まで支給されます。

・決められた医療機関以外で接種したり、法定接種年齢を外れて受けたときは予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。その接種で健康被害を受けた場合は、医薬品副作用被害救済制度に基づく救済を受けることになります。給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師または下記担当へご相談ください。

◆HPVワクチンはすべての子宮頸がんを防ぐものではありません。20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けることも大切です。

◆遠野市から転出した場合は、遠野市発行の予診票は使用できません。

母子健康手帳には、これまでの予防接種の履歴が記載されています。今後、進学（特に医療・介護系）、留学（海外渡航）、就職などの際に、予防接種履歴の確認（提出）が必要となる場合がありますので、大切に保管してください。